

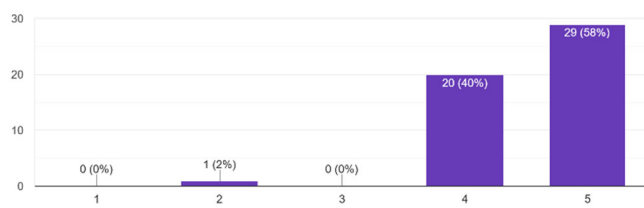
英国ケンブリッジ大学ペンプルック・カレッジ

サマースクール Cambridge Encounters Programme (CEP) 2025 成果報告書

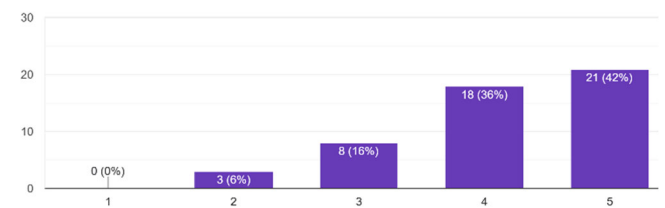
研修の目的	ケンブリッジという大学の教育・研究が中心にある街そのものを教室・教材として用い、英国の歴史、文化、社会を学び、日本との違いを意識しながら多角的に物事を分析する力を身に着ける。また、英語によるディスカッションやプレゼンテーションの実践的スキル、グループワークを通じたリーダーシップ・協働力並びに研修における各課題への挑戦及び留学を通じた異文化の実体験などを通して挑戦する力を育成する。
研修場所	ケンブリッジ大学ペンプルック・カレッジ (英国 中東部)
研修期間	令和7年8月9日(土)～8月31日(日)【22日間】
参加者の人数	50名
研修内容	①英語プレゼンテーション・ディスカッション ②ケンブリッジを事例とする専門科目及び課外アクティビティー
単位認定	有 ※ただし学生本人の単位認定希望状況や所属学部等により異なる。

本研修への応募・選考試験・事前研修から研修を通じて、高めることができた能力（DP 1～8）について、自己評価をしてください。（1 全く高まらなかった～5 とても高まった）

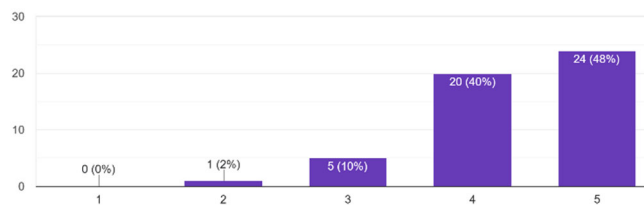
①DP1 「豊かな知識・教養に基づく高い倫理観」



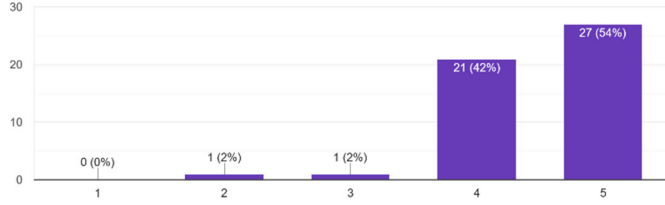
②DP 2 「世界の現状を理解し、説明する力」



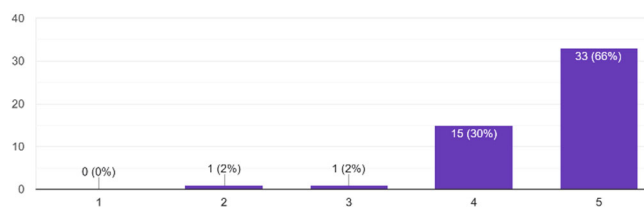
③DP 3 「論理的・批判的思考力」



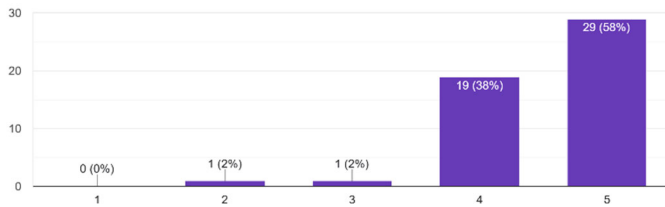
④DP 4 「問題発見・解決力」



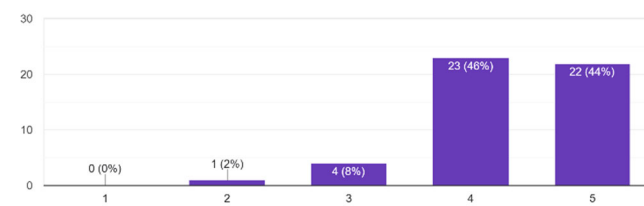
⑤DP 5 「挑戦力」



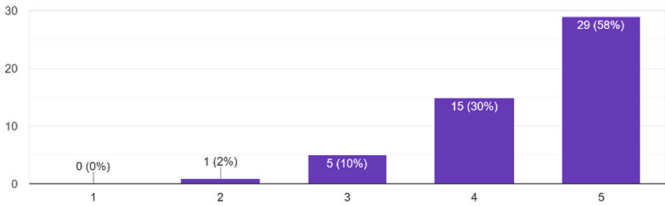
⑥DP 6 「コミュニケーション力」



⑦DP 7 「リーダーシップ・協働力」



⑧DP 8 「省察力」



1. 今後の英語学習、学業、学生生活、就職活動を行う上で、今回のプログラムがどのように役立つと思われましたか

- ・ 英語で自分の意見を伝える力が向上した。また、異文化での生活経験により、柔軟な考え方やコミュニケーション力が身についた
- ・ 英語学習のモチベーションがかなり上がったので、今後の英語学習がより捗ると思う。
- ・ まず、英語力に関わらず、人とうまくコミュニケーションをとれる力があると何事もうまくいくのだろうとおもいました。今後は、コミュ力をつけていくと思います。留学して一番伸びたのは、英語を聞かざるを得ない状況だったのでリスニングでした。今後の進路は、英語を身に付けるためにも、留学も考えようと思います。
- ・ 今回のプログラムを通じて、英語でのコミュニケーション能力や発表力が向上しました。今後の英語学習や授業での発言、自主学習に自信を持って取り組めるようになったと感じます。
- ・ 今回のプログラムを通して、英語で学び、プレゼンやディスカッションに挑戦する経験は、学業や学生生活において主体的に取り組む姿勢を養う大きなきっかけとなりました。
- ・ 今回の研修を通して英語がより近い存在になり英語を話すことへの抵抗感などを少し減らすことができたと思います。
- ・ それだけでなく、自分で考え、意見を整理して発信する経験を重ねることで、挑戦することの重要性などを実感することができました。
- ・ また、異文化に触れ、仲間と協力する経験は、将来の就職活動や社会においても活かせる柔軟で前向きな思考の基盤になったと感じています。
- ・ 今回の学びを今後の活動に生かし、さらに主体的に常に挑戦していきたいと思います。
- ・ 英語の勉強に対する意欲が高まった。
- ・ 今後留学する際のイメージがより鮮明になった。
- ・ ケンブリッジ大学に3週間だけでも来たということ。
- ・ これまで訪れたことのなかったイギリスの人々や雰囲気を知ることができ、自分の中での価値観がアップデートされたように感じる
- ・ 日本の教育機関にはほとんど見られない相互型の授業形式を今回受けたことによって、授業への参加意欲や予習への力の入れ具合も変わりました。やはり将来は日本の大学院ではなく海外の大学院で自己研鑽を行なっていこうと思えるようなプログラムでした。
- ・ 自分が思っているよりも英語ができないとわかったため、この悔しさを生かしていきたい。
- ・ やり遂げたことで自信になりました！
- ・ 同じ夢を持った上級生に会い就活について話を聞くことができたので、とても役に立つ機会になったと思いました。
- ・ 問題解決能力や協調性は建築物を作成したことで、身についたと感じた。勉強や研究をする上で自的に課題に向き合い解決することができるようになると思う。
- ・ 海外で旅行や生活をする上で役に立つと思う
- ・ 臆さずに他者とのコミュニケーションが取れるようになったと思う。
- ・ 自分の英語レベルの立ち位置を理解し、今後の学習に繋げることができるプログラムだと思いました。
- ・ 基本的な英会話やグループワークスキルなどは資格勉強や社会人生活に活かすことができると思う。
- ・ コミュ力と度胸、海外は興味や、文化への慣用さ
- ・ 周りのレベルが高く、もっと英語学習を頑張ろうと思えるようになった。
- ・ 英語で議論をするという点において今後の社会人生活にいかすことができると感じた。
- ・ 話せるようになった、戻ったらゼミの先生とも上手く話せるようになると思う。
- ・ コミュニケーション力であったり、何か問題が発生した際にどう解決するのかは、後から。
- ・ 英語に関することのみならず、チームでなにかに挑戦することや、ゴールに向かって順序だててなにかに取り組むことなどを身につけることを経験することが出来た。
- ・ 今後、他のグループワークなどでも絶対に役に立つと思うし、社会に出てからも通用する物も沢山吸収できたと思う。
- ・ 英語を喋れとアドリブを振られた時にある程度喋れるようになった

- ・ コミュニケーション能力が、ケンブリッジで過ごす中で確実に上がったので、役に立つと思う。
- ・ 今回のプログラムでプレゼンスキルを学んだため、今後の学生生活、就職活動でプレゼンをする際に学んだことを活かせると思う。また、大学のゼミナールや就職活動にグループワークがあるためグループ活動をする際に役立つと思う。
- ・ 英語学習と就職活動において役に立つと感じた。
- ・ 英語学習においては建築学の授業が難しかったことと、イントネーションの違いが新鮮で面白かった為、今後の勉強に関するモチベーションがあがった。
- ・ 就職活動においては普段関わりのない他学部の上級生の方と関わりを持てたことで、就活のリアルな情報を得ることができたからだ。
- ・ 日本との生活の違いや、海外で生活した場合の知識などに役立つと思った

2. ケンブリッジあるいはペンブルックだからこそ得られたもの、気づき、学び

- ・ 歴史的な建物や美しい街並みに囲まれて過ごすことで、日々の生活そのものが刺激となり、学ぶ意欲を高めてくれました。また、世界中から集まった学生と交流でき、多様な価値観を知ることができた。
- ・ 世界最高峰の大学で学ぶことで、その大学の人の考え方や価値観をしっかり学ぶことができた。また、歴史的な建築を実際に見ることができた。
- ・ ケンブリッジという長い歴史をまとった町にいくともっと色々な都市をみてみたいと思えますし、他人を尊重し、色々なひと(外国のひとも含む)と会いたい、知り合いたいと思えると思います。加えて、シンプルに町並みがきれいで魅力的。
- ・ ケンブリッジやペンブルックだからこそ、歴史あるキャンパスや整った施設の中で学ぶことができ、学習環境の重要性を改めて実感しました。静かで集中できる空間や図書館の充実した設備は、学びの効率を高めてくれました。
- ・ ケンブリッジならではの歴史や人々による刺激を受けることができ、物事に対するモチベーションが上がった
- ・ これだけの歴史と格式を持ちながら、少なくともペンブルック内の人は物腰が柔らかく明るい人ばかりで人が素晴らしいカレッジだったと思います。
- ・ その日に学んだ建築物について、実際にその日見に行くことができるのは、ケンブリッジならではの思うので、より学びを深められる良い機会になりました。またレストランの予約1つにしても英語を使う必要があり、英語のコミュニケーション能力を向上させる良い機会になりました。
- ・ 先生方やPAがみんないい人でとても学びやすい環境だったため、やる気も出たし、楽しんで学ぶことができた。
- ・ また、爽やかな空気と美しい自然と建物などの景観の中で学ぶことができたため、非常に有意義で癒される時間となった。
- ・ レベルの高い学生からプレゼンなどについて論理的なアドバイスをもらうことができたのが嬉しかった。
- ・ ケンブリッジという所は比較的治安が良く、スリなどの危険性が少ないため、安心して外出できた。
- ・ 色々な国から留学生がきていてそこでの交流は普段だとなかなかできないのでそこがよかった、アメリカや色々な国の人と交流できたし、言語をいかに使わず交流するかを考えた
- ・ 最終発表前にペンブルックに関連する方々に自分たちのモデルを見て頂きコミュニケーションを取る機会があったことで自分たちにはない考えや説明能力を身につけることができた。
- ・ グループワーク以外、現地、そしたら他の国からの学生ともうまくコミュニケーションし、世界を広げたと思う。
- ・ 建築物の歴史について学ぶことができたため、様々な建物に興味を持つことができた。
- ・ 街全体が教材になるという場所は他には無いくらいすごいことだし、そんな環境で、PAと話せたり、現地の先生によるレクチャーを受けることが出来るのはケンブリッジならではの魅力だと思う。
- ・ すべてから何かを吸収することができる毎日だった。
- ・ 世界観、ケンブリッジの人たちの人柄の良さ、全体の空気感
- ・ 建築の奥深さと、観光での教養の必要さを感じました。

- ・ ケンブリッジ大学のカレッジがケンブリッジ内にたくさんあり、それぞれの建物の作りの違いを見ることができたこと。
- ・ 歴史的建造物を間近で見て直接学ぶことで、一つ一つの知識がすぐに頭に定着しました。
- ・ コミュニケーション力を学べた
- ・ 普段学ばない歴史的なものについて身をもって学ぶことができた

3. Fluency Skills (英語音声学) の授業について

- ・ ペアワークが多く、友達と協力しながら楽しく学べた。また、英語を「正しく」話すより「とにかく話してみる」練習ができたので、自信がついた。
- ・ 発音の仕方を学ぶことができて、よりネイティブのように話せるようになった。
- ・ 非常に豊かな時間でした。学んだ発音を練習する時間がもっとあれば、定着できたのかなと思います。
- ・ Fluency Skills の授業はとても充実していて楽しかったです。授業はインタラクティブで、実際に話す練習が多く、自分の英語コミュニケーション能力に自信が持てるようになりました。先生の丁寧な説明と励ましもありがたかったです。
- ・ イギリス英語の発音だけでなく、文章全体のリズムや抑揚についても学ぶことができ、とても新鮮でした。音の仕組みを理解したことでリスニング力が伸びただけでなく、自分の話し方もイギリス英語を意識して話すことができるようになるなど変化を感じられました。
- ・ また、授業中に先生が発言を丁寧に拾って説明して下さったおかげで安心して練習でき、自信にもつながりました。
- ・ 今後はアメリカ英語との違いも含めて、それぞれの英語を楽しみながら学んでいきたいです。
- ・ 普段はアメリカアクセントが身近なので、ブリティッシュアクセントに触れ、学ぶことが出来て良かった
- ・ 自分の気づかない癖に気づかせてくれて、感謝している
- ・ 日本で英語を勉強しようとする、フルーエンススキルは劣後されがちで勉強機会の乏しい側面があります。その点今回の研修で先生の授業を受ける事ができたのはとても良い機会でした。また、授業形式においても一方的な授業ではなく、参加型の授業で実際に発音を行いながら学ぶ事ができたのはとてもよかったです。何よりも先生の人柄が授業の参加意欲をより強いものとさせてくれ、楽しく授業を受ける事ができました。
- ・ 細かな発音などをしっかり学ぶのが初めてだったので、ブリティッシュイングリッシュを学ぶ良い機会になった。
- ・ 今まで発音記号やアクセントの場所(ストレス)を意識せずに話していましたが、プレゼンテーションの文章を暗記するために辞書を開いた際新しい視点から物事を見ることができ、英文学科として良いことを学べたと感じました。
- ・ 英単語の発言についてみんなで考えたり、輪になってゲームをしたりして友達との関係が深まったとともに英語の発音、ワードについて学ぶことができた。
- ・ 授業内にゲームなどを取り込んでくれたので楽しく受講することができたから。
- ・ 発音記号など今までの日本での学習であまり自分自身が力を入れていなかった範囲の基礎的なことを英語が母国語の先生に教わることができ、発音の仕方やアメリカ英語とイギリス英語の発音の違いなど様々なことを学ぶことができ、今後の学習に繋がれると感じたからです。
- ・ 自分だとあまり意識していない発音などを知ることができたから。
- ・ みんなをあてて授業がポップに進んでいるのがよかった、
- ・ 発音の仕方や電子辞書に書いてある発音記号の読み方などを学べた
- ・ 自身の発音を見直し、最終発表に向けてより伝わりやすい文章や発音を学ぶことができたため。
- ・ 発音だけでなく、授業前の練習、グループワークなども楽しめる。
- ・ いつも楽しい授業でした。
- ・ 発音の仕方など普段あまり意識していないところをしっかりと学ぶことができたから。また、授業内のゲームが楽しかったから。
- ・ 分かりやすい授業構成と聞き取りやすい発音で、非常に良いクラスだった。また、授業への工夫や彼のキャラクターで楽しい授業だった。

- ・ 先生は一人一人にすごく寄り添ってくれて、すぐに名前を覚えて読んでくれたり、正しい発音になるまでどれだけ時間がかかっても一緒に練習してくれて、英語を話す上で基礎となるものや応用できるものまで幅広く実践でき、知識としても身につけることが出来た。
- ・ ウォーミングアップから声を出すことで学習していくのでとても良かったと思います。ペアワークなどでも英語を使う場面が多く成長を感じられます。
- ・ うまくいった
- ・ 英語のリズムなど日本では学べない発音を学べたから
- ・ 発音の基礎を一から学ぶことができ、正しい発音の仕方や、イントネーションを知ることができたため。また、イギリス英語の発音を学ぶことができたため。
- ・ 細かい発音記号や発声練習など、私自身の経験としてしっかりと学んだことがなかったのもとても為になったから高い評価を選択した。
- ・ 先生の人物像も陽気な先生で接しやすくとても良かった。
- ・ 理論的に発音を教えてもらったため、日本に帰っても活かそうだと感じた。
- ・ 口を動かして細かな発音を学ぶことができたので、英語を話す際に注意するようになりました。
- ・ イギリスの発音をしっかりと学習出来るのでとても良かった。
- ・ ネイティブの先生に丁寧に細かく日本人にもわかるように発音を教えてもらいとても楽しかったから。
- ・ イギリス英語とアメリカ英語の発音や単語が全然違ってとても面白かった。

4. Presentation Skills の授業について

- ・ スライドの作り方や話し方の工夫を学べて、これからの学習や将来にも役立つと思った。
- ・ 発表の際のコツや緊張をほぐす方法などを知ることができてとてもためになった。
- ・ とてもよかったです。しかし、実際に自分の建築物のプレゼンをするときには、時間がなく学んだことを実践できませんでした。帰国後に活用していこうと思います。
- ・ Presentation Skills の授業はとても有意義でした。授業は実践的で構成が分かりやすく、プレゼンテーションの自信と技術を向上させることができました。先生からの具体的なフィードバックも非常に役立ちました。
- ・ プレゼンの構成や効果的なスライドの作り方、視線や声の使い方といった実践的な内容を学ぶことができました。自分が実際にプレゼンを作成する段階で、授業で教わった聞き手を意識したプレゼン、情報を整理してわかりやすく伝えるスライドなど何を考えるべきかを振り返りながら準備し、しっかりとアウトプットすることも出来て大きな学びに繋がりました。
- ・ 既に知っている知識が多かった。
- ・ 終始優しくて親身に相談に乗ってくれた
- ・ プレゼンテーションを行う上で、まず生徒達にプレゼンテーションを行うにあたりどのような感情を抱いているのか、どのような不安を感じているのかを参加型の授業で考えさせてくれ、そこに有名な心理学者の学説的な説明を加え感情の種類やプレゼンテーションの意義をしっかりと理解させてもらえました。とても考え尽くしてこの授業を行なって頂いているのだなと感じた一方でよりプレゼンテーションの具体的な技術やマインドセットにも踏み込んだ内容を学びたかったと思いました。
- ・ プレゼンをやる機会は何回もあるが、その方法について学ぶことはこれまでなかったのでとてもまたになった。これからの大学生活でも生かしていきたい。
- ・ プレゼンテーションに対して苦手意識がありましたが、緊張しながらもグループの皆と楽しみつつ乗り越えることができそれはプレゼンテーションスキルを学べたこともとても大きかったと思うからです。
- ・ 意見を出し合うことで物事に対する視点が広がりとても勉強になった。また、発言しやすい雰囲気なので英語を話す練習になりとても良かったです。
- ・ 常に優しい雰囲気で、質問しやすい空気を作ってくれていたから。
- ・ あまり集中して日本では学んでいなかったプレゼンテーションにおける体の動き、声、スライドの作り方などを一つ一つ丁寧に説明してくださり、今後の社会人生活に非常に活かすことができる内容を学ぶことができ、非常に貴重な経験を積むことができたからです。
- ・ プレゼンテーションに必要なスキルは何かということ英語で知ることができたから。

- ・ 強制的に日本語を禁止してくれていい負荷が与えられたと思う
- ・ 授業に入る前の瞑想が気持ちよかった。
- ・ 最終発表のスライド作成に関してアドバイスをいただき、準備や心構えについても学ぶことができたため。
- ・ パワポの作り方や表現の簡潔などを学び、効果は英語に限らない。
- ・ ゆっくり教えてくれた。
- ・ プレゼンテーションをする際に意識すべきポイントなどマインド面を含め学ぶことができたから。
- ・ たくさん英語を使わせてくれる授業内容と、絶対に授業中は英語を使わないといけないという決まりのおかげで、英語力を伸ばすことが出来た。
- ・ プレゼンに臨む心構えや準備など、最終プレゼンに活かせることを沢山学ぶことが出来た。
- ・ プレゼンの機能などについては既存の知識も多かったが講義を通じて、プレゼンそのものについての理解を深め、自分自身に必要なものを見つめ直すことができた。
- ・ イングリッシュしかしゃべらないって言うルールがあるので、強制的に1日この時間はずっと英語を使うので英語により慣れていくことができます。友達からも私の英語が日に日にブリティッシュイングリッシュになっていっているって言われて、知らず知らずにみにについていることが実感できました。
- ・ 話す能力が上がった
- ・ プレゼンのマインドや、会場など細かいことまで学べたから
- ・ 今までプレゼンテーションについてしっかりと学ぶことがなく、今回のプログラムでプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶことができたため。また、私は人前で話す際に緊張をしてしまうためその時の対処法を学ぶことができたため。
- ・ Fluency 同様に先生はとても良かったが、もう少し実践的なケーススタディのようなものがあれば良かった。特に、パワポ作りが好きな私には初歩のあるような初歩的な内容ばかりで残念だった。
- ・ パワポの作り方などが役に立った。
- ・ 毎回の授業で宿題が出されるため、英語で文章を考える癖がつかしました。
- ・ プレゼンテーションのやり方や緊張しない方法を教えてくれたのでとても参考になった。
- ・ 先生はたくさん喋る機会をくれてチャレンジさせてくれて同じように授業もとても楽しかったから。
- ・ プレゼンテーションのやり方や、大切なところを学べたおかげでそれを活かした発表をすることができた。

5. Cambridge Encounters の授業について

- ・ 元々建築について触れる機会がなかったが、講義が面白く、建築の基本的な知識やデザインの考え方を学べて、とても刺激的だった。
- ・ イギリスの建築について深く知ることができた。
- ・ 初めは、全編英語ということに戸惑い全く理解できませんでしたが、全てを終えた今、概要は理解できるようになったと思います。
- ・ Cambridge Encounters の授業は非常に興味深く、充実していました。さまざまなトピックを学び、批判的思考を養う良い機会となりました。先生のわかりやすい説明と積極的に参加するよう促してくれる姿勢が印象的でした。
- ・ 建築に関する知識を英語で学ぶ大変さもあったが、その分新しい視点を得ることができました。特に模型制作の際には、先生方が具体的でかつ真摯に向き合ってくれてアドバイスをしてくださり、常に前向きに評価してくれることで大変ながらも自信を持って取り組むことができました。授業で学んだ建築様式や歴史的背景を、自分たちのロッジのデザインにどう活かすか、どれだけ多く取り入れ自分たちの意見と混ぜ合わせられるかなどを考える過程は難しかったですが、その分大きな学びと達成感につながりました。
- ・ 自分が日本で学んだイギリスの歴史などが沢山出てきて面白かった。
- ・ 建物の構造や歴史に詳しくなれた
- ・ ケンブリッジの本来の授業に最も近い授業だったのでは、と思いました。先生ならではの建築物に対する知識と客観的な建築物に対する説明の二つが織り込まれており、とても楽しかったです。英

語においても非常にわかりやすい発音とスピードで話してくださり内容の理解に困りませんでした。先生が西洋の建築物に持つご自身の美意識や「どこがすごいのか」というところから、西洋の人々の美的感覚を垣間見えたのもとてもいい経験でした。

- ・ 全く知識のない状態から学んだのでとても興味深く面白かった。質問にも丁寧に回答していただけて楽しかった。
- ・ 建築学に関わるのが初めてで少し難しく感じる部分もありましたがグループで制作を重ねるうちに各自の得意分野を活かしつつ学びを深めプレゼンテーションをやり切ることができたのでよかったです。
- ・ まだ学んだことのない分野を学ぶことができ、とても勉強になったし、美しい建物の中で授業を受けることができてとても楽しかった。
- ・ 声のボリュームが時々聞きづらい時があったが、興味深い講義をしてくれていたから。
- ・ ファイナルイベントに向けて、3Dモデルを作成している際に、親身になって質問に答えていただいたり、アドバイスを下さり、非常にスムーズに作業を進めることができたからです。また、授業内容もケンブリッジ大学やケンブリッジの街並み、ヨーロッパの建築など多岐に渡り学ぶことができ、非常に充実した時間を過ごすことができました。
- ・ 建築様式などについて深く知ることができたため、その後のグループワークに活かすことができた。
- ・ 専門的すぎて難しいところもあったが資料があつてわかりやすかった。
- ・ 資料にもっともじを増やしてほしい
- ・ 事前に建築のことを軽く勉強していればより理解できたのではないかと思った
- ・ 実際の例でたくさんの建築の形を分かった。
- ・ 少し聞き取りづらかった
- ・ 建築などの建物についてしっかりと学ぶ機会がなかったため建築に興味を持つきっかけになったから。
- ・ とても初心者向けの説明で分かりやすかった。また、彼の建築物への愛がところどころ感じられて、楽しいレクチャーだった。
- ・ 自身の専門分野ではない 全く新しいことを学ぶということ自体に、初めはかなり不安だったけれど、先生による授業はどの回も非常に興味深くて、イギリス建築を通じて文化や歴史を身近に感じることが出来た。
- ・ とってもゆっくりははっきりとした英語を喋ってくれるので比較的聞き取りやすかったです。さらに授業前に専用名詞の説明があるので理解しやすかったです。
- ・ 大学のさまざまなことを知れた
- ・ 先生のレクチャーを受けたことでケンブリッジ市内やロンドンでの建物の見方が変わったから
- ・ 古代から現代の建築について詳しく学ぶことができたため。また、パワーポイントだけでなく実際に紙に図を描いてくださったためとても分かりやすかったため。
- ・ とても興味深い内容だったが、自分の知識不足のせいについて行くのに精一杯だった。日本にいる段階から参考書等を使って予習するべきだったと後悔している。
- ・ 後半に理解できるようになってからは楽しかったが、前半はほとんど理解できなかった。
- ・ 古い歴史的な建物を通して文化の違いや構造の違いについて学べた。
- ・ 背景知識が少なくなかなか聞き取るのが難しかったがわかる部分やとても興味深かったから。
- ・ 少し難しかったけど、とてもタメになった

6. Seminars and Field Trips について

- ・ 教室内で知識学ぶだけではなく、学校の外に行くことにより一層建築に触れることができ、理解が深まり楽しく学べました。
- ・ 講義の内容を議論したり、実際に見たりして定着させることができた。
- ・ 大学での学習は、座学が中心で、外にでる体験は、新鮮でした。楽しかったです。
- ・ Seminars と Field Trips はとても充実していました。セミナーは分かりやすく、興味深い内容で、フィールドトリップは教室で学んだことを実践的に体験する素晴らしい機会となりました。講師や PAs の丁寧なサポートもありがたかったです。

- ・ 授業で学んだ内容をすぐに実際の建物で確認できるので、インプットとアウトプットが結びつき、とても理解が深まりました。現場で先生方に直接質問できたり、PAさんと意見交換できたりする環境も心強く、知識面だけでなく考え方の幅も広がったと感じます。
- ・ また、自分たちだけで週末に出かけた時にもここの部分は後から建てられたと思う、と予想しそれが実際に当たっていた時などにも、この授業があったからこそ自分たちにしっかり身についたのだと感じました。
- ・ 自分が日本で学んだものや、シェイクスピアを始めとした英文学作家について学べたことが面白かった
- ・ 二人とも博識で説明がとても分かりやすかった
- ・ 先生の座学を受けた後の理解の確認を行なってくれた事がとてもよかったです。また実際に座学で紹介された建築物を見に行く事ができさらにそのディテールを説明してくれた事でより理解が深まったのと同時に自分がその建築物に対しどう感じるのかを確認できた良い機会でもありました。何よりお二人のキャラクターのおかげでとても楽しく授業を受けられました。
- ・ 先生の授業もとても楽しかったです。普段東京にいと、自由な時間を使い物を描くという事は無かったのですが、この研修でその良さに気付かされました。何よりも目の前にあるものを視覚効果を使いながら紙に上に落とし込んでいく事が楽しかったです。
- ・ PAの皆さんには感謝しかありません。まだ同年代の人もたくさんいる中、自身も学んだ事のない授業を受け、まるで先生のように私たち日本人と向き合う事は結構なプレッシャーであり、頭を使う事だったと思います。また、全体的にシャイだった日大生に対し多くの時間を費やしイベントなどを計画してくれて距離を縮めようとしてくれた事にも本当に感謝していました。
- ・ レクチャーで学んだことを実際に体感するのはとても面白かった。これからの日本での生活で気にしてみたいと思った。
- ・ ケンブリッジにいるからこそ学び、肌で感じる事ができる体験が多くある授業だったのでとても興味深かったです。
- ・ 学んだ直後に自分の目で建物を確認できるので、非常に勉強になったし記憶に残った。
- ・ 2人の知っている専門知識を余すことなく伝えてくれていて、質問もしやすく授業が楽しかったから。
- ・ 拙い英語で質問をしても親身になって対応してくださり、より理解を深めることができたからです。また、教え方も非常にわかりやすく、難しい内容で分からないところもありましたが、理解することがある程度できました。
- ・ フィールドトリップでは自分では気づかない建物の重要なポイントならついたり学ぶことができたため。
- ・ 二人ともわかりやすい英語で親しみやすく、質問しようとしたらすぐに向いてくれるのがわかってよかった
- ・ 実際に足を運んで建物に行くのが楽しかった
- ・ 写真やパワポだけではなく、実際のところに行って、もっと建物の形を把握できる。
- ・ 街を丁寧に案内してくれた
- ・ 講義のサポートや生活のサポートが手厚く過ぎやすかった
- ・ 実際に建築物をみることでその大きさやディテールについて学ぶことができたから。
- ・ ケンブリッジ内の様々な場所に行くことが出来たフィールドトリップと、理解を深めるためのスケッチはとても有意義な時間だった。彼らの建築物への深い理解は素晴らしいと思った。
- ・ 講義で聞いたものを実際に直接行って自分の目で見られることが本当に楽しかった。
- ・ 歴史的な建築様式が数多く存在中で、未だにそんな建物がケンブリッジの街の中にあるんだということもとても感動した。
- ・ 知識を持ってから見るケンブリッジの街は、初めに見た時の「なんかすごい！」という感覚よりもっと面白く、その凄さに感動できるようになった。
- ・ レクチャーでわからなかったところや、質問できなかったところをここで再復習再確認ができるし、ちょっとしたクイズで、自分がどのくらい身につけているのかを確認することもできるのでレクチャーで学んだことを身に付けるのに最適だと思いました
- ・ 建物について深く知れた

- ・ レクチャーで学んだことを復習し、実際に訪れる形式が非常に効果的に感じた。その場で疑問に思ったことをすぐ聞いて解説をしてくれたのがよかったです
- ・ 実際に建物を見てレクチャーで学んだことを復習できたり、わからなかった点についてグループ内や先生方、PA と話し合うことができより内容を明確に理解することができたため。
- ・ 2 人ともそれぞれ良い点があり素晴らしい先生方だが、内容や方向性に違いがあるためその日割り当てられる先生によって得られる知識などに偏りが出てしまうのが残念だった。
- ・ 町のデッサンを通じて、より建築を注意深く見るようになった。
- ・ 実際に足を運ぶことで建物についての理解がさらに深まりました。
- ・ 教会や様々な場所を訪れて実際にアウトプットをしながら授業内容を復習することが出来たし、PA' s のアクティビティもどれも良かった。
- ・ 同じように楽しく話してくれて楽しかった。
- ・ レクチャーでわからないところがあったとしてもこの授業で実際に訪れたりすることで理解ができた。スケッチも色々な技法を使いながらやることができてよかった。

7. グループワークについて

- ・ メンバーと協力することで、自分一人では思いつかなかったアイデアが生まれてよかった。また、役割分担をして進めたことで、効率よく作業できた。
- ・ フロアマップをエクセルで作成したり、発表の裏の部分をたくさん担当した。議論で発言をあまりできなかったのが課題です。
- ・ 初めは、中国のグループワークの仕方との違いに困ってしまいましたが、そこを班員全員で乗り越えられたことはとても喜ばしかったです。
- ・ グループワークはとても楽しく、他の参加者と協力してアイデアを共有したり、さまざまな視点から学ぶことができました。チームで取り組むことで、コミュニケーション能力や問題解決能力も向上しました。
- ・ 自分たちだけでなく他のグループもそうだと思うが、誰一人として作業を放棄することなく、それぞれができることを自ら見つけて進められたのが良かったです。意見が出たときも全員でしっかり耳を傾け、歩み寄りや譲り合いをしながら自然とまとまっていきました。こだわりを持って引っ張ってくれるメンバーらを中心に、全員がついていく体制ができていたので、形だけの協力ではなく本当に真剣に取り組めたと思います。その結果、自分一人では思いつかないような発想を共有でき、学びも多くありました。何よりも、みんなで一つのものを作り上げていく過程がとにかく楽しく、チームとしての達成感を強く感じられました。
- ・ 各々が意見を出し合って、役割分担して作業を進められたから。
- ・ 同じチーム内に協力的でない子がいたため、前半からかなり苦勞した。他の班のように全員で協力してひとつのものを作りあげることは出来なかったが、その中でのベストをつくせた。
- ・ 自分自身としてはとても充実していたが、周りには過剰に負担をかけた気がするので、その点に関しては申し訳なく思っている
- ・ ベストは尽くしました。ワークの運営やディスカッションにおいても置かれた状況下で最善を尽くしたと思います。想定外のグループ内での問題も被害を最小限にしながら行えた事も全ては全力でサポートしてくれたメンバーのおかげだと思います。本当に感謝です。
- ・ 色々あったが最終的にはまとまってできた。リーダーシップスキルも向上したと思う。
- ・ 現地学生が少なすぎる。
- ・ 大学生になると1つの目標に向かって、グループメンバーと一緒に何かを作り上げることをしなくなるので、夜の22時まで一生懸命話し合いながら良いものを作るように取り組んだ時間は一生の宝物になりました。
- ・ それぞれが意見を出し合い、自分のできること(得意なこと)をやるスタイルで協力して取り組めたから。
- ・ 班員が素晴らしかった。
- ・ 仲間と一緒に話し合い、より良い意見をまとめることはできたとは思いますが、負担が少し偏ってしまった部分があり、自分の中で反省すべき部分があると感じたグループワークでした。
- ・ 案が途中ガラッと変わり時間が無い中でも効率よく進めることができた。
- ・ 普段だと関わらない人とも協力をする環境はなかなかないので学びになった

- ・ ネガティブ発言が多い子や言わないとなにもできない子などは減らした方がいいと思う
- ・ コンペティション型の発表とした場合、グループの作成時にもう少し専攻や学年を考慮しても良いのではないかなと感じました。
- ・ グループ内で十分の意見を交換し、望んだモデル、発表をできた。
- ・ 凄く仲良く出来ました。
- ・ ディスカッションとディベートを勘違いしているメンバーがいて大変だった
- ・ グループ内のメンバーと意見を共有できチームでしっかりと納得のできるものを創り上げることができたから。
- ・ グループ内で得意不得意を理解し合って、仕事を分担した。
- ・ 建築の専門知識を誰も持っていない中始まったグループワークは、始めは何をどうしていいか本当に分からなかったけど、逆に素人同士、授業内容を思い返しながら試行錯誤し、方向性をチームのみんなで決定することができた。
- ・ モデルの制作など、本当に大変なことが多くて、こんな作業1人なら辛かったと思うけれど、チームメンバーのみんなが居てくれて、様子を見て助け合いながら同じ空間で話しながら作業をしたおかげで、大変だったけど最後のやり遂げた感触やチームメンバーとしての誇りも感じるくらいにチームとして団結してグループワークを進めることができた。
- ・ チームワークが深まった
- ・ 全員でそれぞれの得意分野を生かして協力し、作ることができた
- ・ グループで、自分たちが納得するまで話し合ったり、みんなで協力し合いながらグループワークを進めることができたため。
- ・ 最終週にかけて時間を共有することが増えたので打ち解けて良いグループワークが送れたと思っている。
- ・ 特に授業時間においては褒めてもらったように英語だけで議論をするなどよく出来たと自負している。
- ・ それぞれの学部能力を活かした。
- ・ ただスクリプトを一人で作るのは、とても大変だった。
- ・ 時間の経過とともに話し合いも活発になり、とても有意義な時間を過ごせました。
- ・ 皆で協力して物事を最後までやり遂げることが出来た。
- ・ 最初はついていけなかったけど、だんだん慣れて自分ができることを率先してやることができた。

8. ケンブリッジ大学の学生 (PA) による Activities について

- ・ PA が盛り上げてくれたので、楽しく Activities に参加できた。また、交流が深まり、よい思い出になった。
- ・ ケンブリッジのさまざまな文化や場所を知ることができてとても良かったです。ただ目的地までのルートはしっかりと確認しておいてほしいと思いました。
- ・ PA は優しいので、わからなければ、何度も言ってくれます。内容自体も歌ったり、遊んだり楽しかったです。
- ・ PA Activities はとても楽しく、参加者同士の交流を深める良い機会となりました。特にグループで協力して行うゲームやチャレンジ型のアクティビティは盛り上がり、他の参加者と仲良くなるきっかけになりました。
- ・ カラオケでは、日本の歌を知らないかもしれないと気を使ったり盛り上げようと必死になって少し大変だった。
- ・ パンティングが楽しかった
- ・ ロンドントリップに関してはPAがロンドンを案内してくれると思っていたので、自分で予定を立てねばならず、少し残念だった
- ・ カラオケが楽しかったです。
- ・ 一緒に行動して会話できたのが楽しかった。もっと話す機会があってもよかったと思った。
- ・ ロンドン Trip の自由度がもう少し向上すればと思いました。
- ・ スラングのアクティビティが楽しかった
- ・ カラオケだけ参加したが、非常に楽しかった。
- ・ PA と一緒に観光すると思っていたら目的地まで行くだけだったので驚いた。

- ・ ロンドントリップでは、PA と一緒に回れるのかなと思っていたため、回れたらもっと楽しかったのかなと感じました。
- ・ 絶対に話題を振ってくれるし、楽しんで参加してそうな感じがして雰囲気がよかった
- ・ 最終発表の準備が始まるとアクティビティに参加する余裕が少なくなってしまった。
- ・ カラオケが楽しかった
- ・ 道中に様々なことを話してくれたため楽しかった。
- ・ 参加した中でパンティングとグランチェスターに行く回は、ずっと PA と一緒に活動出来て、さらに新しいことを沢山経験できて、個人ではなかなかできないことや行かないところに連れて行ってもらえて楽しかった。
- ・ ロンドントリップは PA がつれて行ってくれて、観光をすごく楽しめたけど、PA と一緒に行動できる訳ではなかったのが少し残念だった。
- ・ 全般的に私は PA アクティビティに参加したかったんですが、他に行きたいところと実際のスケジュールを考えたところ、PA アクティビティに行くことを断念せざるを得ないって言う選択肢になっておりました。自分たちの課題の重さや実際行きたいところや行きたい場所の営業時間と授業の終わる時間を考えました。
- ・ カラオケ
- ・ English discussion で、実際の大学生が使うスラングなど楽しく学べて英語を使えたのでよかった
- ・ 私はパンティングとグランチェスターのアクティビティが良かったです。どちらも景気がとてもきれいで自然がたくさんある環境で休日過ごすことができ、とてもリラックスできました。
- ・ カラオケなど良かったやつも結構あったが、最初の週に行われた街中の案内はよくなかった。フィールドトリップと同じで担当の PA によって充実度がかなり違ったからだ。
- ・ 色々なことを学べた。
- ・ とてもたのしかった

9. その他、プログラムに関して感想・要望等

- ・ 楽しかったです。参加しなければ感じられなかったことがいっぱいありました。
- ・ 全体を通して非常に充実したプログラムでした。授業やセミナー、フィールドトリップ、PA Activities など、すべての活動が学びと経験につながり、貴重な時間を過ごすことができました。
- ・ 夜中に叫び出す人や大声で歌い出す学生がいた。8 時間の時差がある中オンライン面接などの就職活動をしている身として、時間帯を考えること、また定められたルールや目的に則るべき
- ・ 人生の上でも最高の研修でした、本当にありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 本当に楽しくて、とてもいい経験になりました。参加させていただきありがとうございました。
- ・ 非常に貴重な経験をすることができ、今後の社会人生活でも活かせるようなことや素晴らしい友人を作ることができました。貴重な機会を頂きありがとうございました。
- ・ 3 週間本当にありがとうございました。
- ・ ケンブリッジ大学の敷地内の寮に住むことができ貴重な経験ができ良かったです。
- ・ 本当に貴重経験を沢山しました。
- ・ このプログラムでのことは、ずっと忘れないと思います。
- ・ 今後も英語をちゃんとできるようになっていきたいなと思えるようになりました。本当に毎日楽しかったです。
- ・ もう少し長い期間で行きたかったです
- ・ 30 周年レセプションで話に出ていた推薦状システムの復活を望みます。

10. 次年度以降に参加する学生に対して、今回の参加経験を踏まえて、メッセージやアドバイス

- ・ 事前の英語学習や準備をしっかり行くと、授業や活動がより充実します。
- ・ さまざまな経験ができるので、ぜひ事前準備をしっかりするべき。
- ・ 費用はだいぶかかるとは思いますが、それに見合うあるいはそれ以上の体験ができることは、間違いありません。是非参加してください。
- ・ このプログラムは、学びだけでなく友人との交流や異文化体験の機会も多く、とても貴重な経験になります。積極的に参加して、楽しみながら学んでください。

- ・ 今回のプログラムに参加して、授業やフィールドワークだけでなく、ケンブリッジの街や文化に触れる体験、仲間との交流など、ここでしか得られない学びや楽しさをたくさん感じました。最初は不安に思うこともあるかもしれませんが、PA や先生方、仲間たちのサポートがあり、とても安心して快適に過ごせます。
- ・ 海外という新しい環境の楽しさ、文化の違い、また名門校で学べる貴重な機会、現地学生との交流、現地の寮での生活体験など、留学の良いところを取り入れたプログラムだと思います。
- ・ 英語力だけでなく、自分の視野を広げ、新しい発見や成長を実感できる貴重な機会なので、0.01%でも興味があるのであればまずはぜひ迷わず応募してほしいです。
- ・ 事前に研修のことを想像して英語の勉強をすればするほど、研修期間で得られるものが多くなると思います。
- ・ スピーキングは伝えようという意思があれば割とどうにかなると思うので、リスニングを重点的にやると思います。
- ・ 目的を確認してから来た方がいい。
- ・ 一生の思い出になる素敵な経験もできる
- ・ ここで得た知識や時間、交友関係は一生の宝物になると思うので、もし参加できるのであれば参加しておいたほうが良いと感じる
- ・ 最初とかの週に遊べるなら沢山遊ぶべき！課題が増える前に！！
- ・ 能動的に動けば動くほど指数関数的に充実度が上がるプログラムです。友達と過ごす時間と、そのグループから一歩抜け出して自分にしかできない行動と体験を追求していく姿勢を持って挑めば最高の研修になります！
- ・ やりたいことをやって欲しい。
- ・ 挑戦したことは自分の自信になるし、出会ったのは志をもった素敵な仲間だったので勇気をだして頑張ってください！
- ・ 良い友達に出会い、とても濃い経験のできる3週間に必ずなると思うので、ぜひ楽しんでください。
- ・ クレジットカードは何枚か持参した方が良い。スキミングバッグは必須。
- ・ 英語力が乏しくても挑戦力と好奇心があれば楽しく充実した毎日が送れると思う。
- ・ 積極的にコミュニケーションをとる方がより楽しめる
- ・ 本当にあっという間でずっと楽しいので、来るまでにできるだけ目標を明確にして、毎日目標設定をし直す、振り返ることを繰り返せば、かなり自己成長できる有意義な時間を過ごすことができると思います！
- ・ 出発までに英語を話す機会をできるだけ多く作っておくと思います。授業は英語が聞き取れる前提で進むので、リスニングは特に重要だと感じました。
- ・ PA アクティビティはPA と話せるチャンスでもありとても楽しいので、できるだけ参加してみたいです！
- ・ たくさん現地の人と話してください。
- ・ 1,2週目に沢山遊ぶべき。
- ・ ケンブリッジ大学の教授や生徒と関われる機会はそうそうありません。また、ケンブリッジの歴史ある街並みに囲まれて生活できる経験もありないため、非常に貴重な充実した時を過ごすことができるプログラムです。講義の内容は難しいですが、そこに面白さを感じることもできると思います。是非参加してみてください。
- ・ 日大生とも現地の人も積極的に話に行くことが重要だと思いました。
- ・ 話せなくても話せ！
- ・ 他学部や他学年の人たちと関われる貴重な機会でもあり、このプログラムに参加している以上意識が高い人たちが多くとても刺激になった。
- ・ ケンブリッジの環境の良さを活かしながら3週間という短い期間での留学のため、長期留学の足がかりになる良い機会だと思います。
- ・ 部屋の排水口に触れない
- ・ 自炊できます。コスト抑えられます。

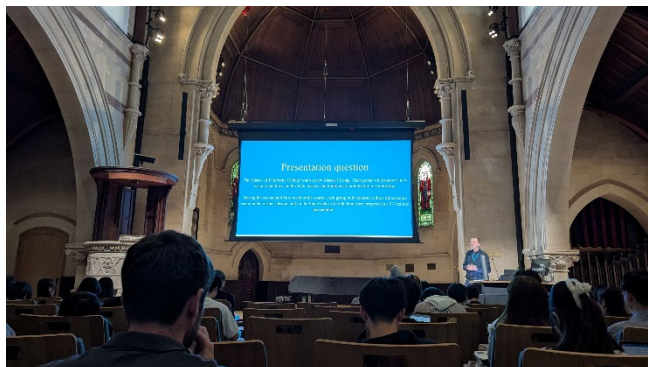
- ・ 時差ボケや食事面で大変だと思いますが、研修メンバーとの仲を深めて有意義な時間にしてほしいです
- ・ 英語を話すことに自信を持つことができると思うので日本でたくさん勉強してから自分の実力を確認して日々の英語学習に繋げると良いと思います。
- ・ 現地の人と交流する機会を逃さないようにしてください。
- ・ お金を貯めときましょう。
- ・ 体調に気を使いましょう。
- ・ 新しいことを見て体験して、とても沢山のことを得ることができます。
- ・ なるべく多くのことに挑戦してみてください！
- ・ PA アクティビティにたくさん参加するとか、自分で現地の先生や学生に話してみるなど！
- ・ PA 達はほんとに優しいので、ちょっと間違っことを言っても理解しようとしてくれます。
- ・ 自信に繋がる経験ができると思うので、後悔のないように思う存分なにかをやってみてください！
- ・ わざわざ向こうの電圧に合う家電を買うより 1 つ変圧器を買った方がお財布的にも効率良いんじゃないかなと思いました。ほんとに 1 つの店を回る時間が少ないため、1 回いいなと思ったものはすぐ買ったほうがいいと思います。なぜならまたつぎが来たときでいいかって思うと次来られなくなるかもしれません。もしくは最終日らへん時間管理、完璧にしてから買うことになります。でも最終日らへんはみんな模型作るのに必死なので、抜け出しづらかったりします。
- ・ 行くか迷っているならとりあえず行こう
- ・ ケンブリッジ市内だけでも見切れない程の見どころがあるのでぜひケンブリッジ内を探索する日を作って欲しい
- ・ プログラムの後半になるにつれて活動が忙しくなり、寒暖差もあるので体調には充分気をつけてください。
- ・ 26 年度の方へ建築学はかなり難しいです。予習は必須です。
- ・ また最終発表直前は非常に忙しくなります。行きたい場所がある人は前半のうちにいくことをお勧めします。
- ・ とても楽しいプログラムだったので、是非参加してください。
- ・ マグカップを持ってくるべき。洗濯ネットは 2 個以上。クレカを apple pay に登録しておくべき。
- ・ 時間があれば寮の周りを探索してみるとたくさんの発見があるので、ぜひ歩いて自分の目で色々なものを見てみてください。
- ・ 頑張ってください
- ・ もっと、英語を話せるようになってからくるとより楽しむことができる
- ・ 自分が思っているより英語通じる
- ・ とにかく話すチャンスを逃さず、単語を無理やり繋いででも話し続けてここにきてしかできない経験をたくさんしてください。
- ・ 積極的にグループワークに参加して、自分の意見をはなすこと！
- ・ 靴のソールの中にポンドを少し入れる
- ・ 様々な経験をできるようにお金はたくさん貯めておいた方が良いでしょう。

短期海外研修（サマースクール）の様子

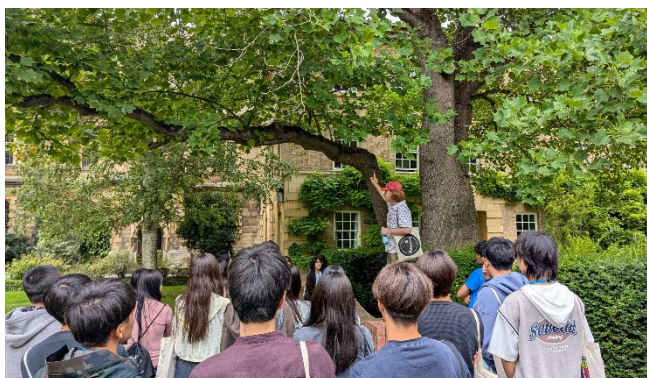
授業（Fluency Skills）



授業（Cambridge Encounters（講義））



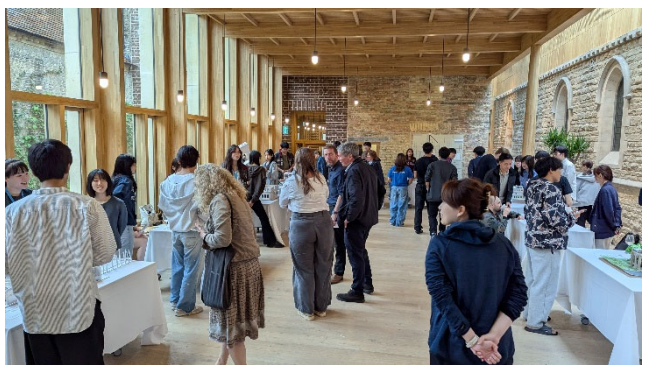
授業（Cambridge Encounters（演習・実習））



PA アクティビティ（English Conversation Club）



全グループの建築模型の展示・模型の質疑応答



最終発表（グループプレゼンテーション）



ペンブルック・カレッジ



修了式の様子



ケンブリッジの街並み



日本大学共同学寮 Foundress Court の部屋



ケム川でのパンティング



ロンドン・キングスクロス駅



以 上